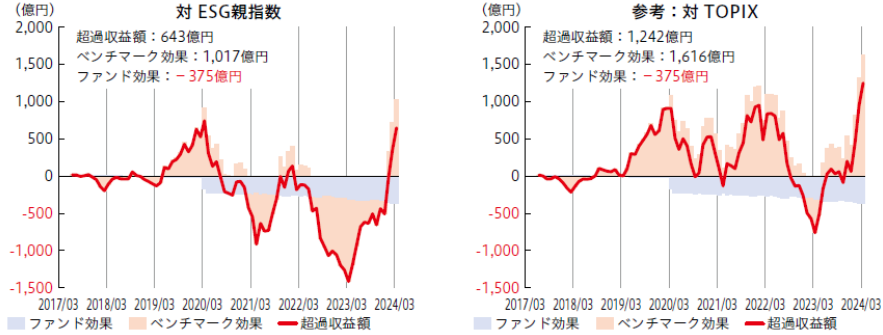
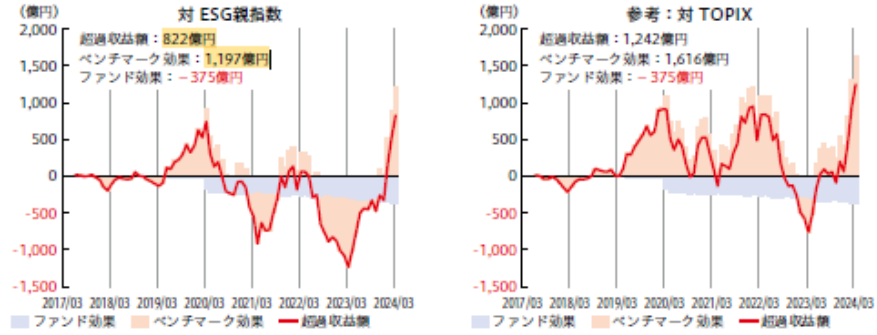


本誌に下記のとおり、誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

頁	誤	正
41	図表2の通り、国内株式ESGパッシブファンドの市場平均に対する累積超過収益額は1,242億円、親指数に対しては643億円となりました。「ベンチ	図表2の通り、国内株式ESGパッシブファンドの市場平均に対する累積超過収益額は1,242億円、親指数に対しては822億円となりました。「ベンチ
42	【図表2】国内株式及び外国株式ESGパッシブファンドの累積超過収益額の推移 <国内株式> 	【図表2】国内株式及び外国株式ESGパッシブファンドの累積超過収益額の推移 <国内株式> 
69	財務インパクト ～CVaR分析(株式・社債)～  気候変動リスクが株式・社債のポートフォリオに与える影響 気候変動リスクへの対応は、企業に対してコスト負担が生じる一方、環境技術への需要拡大に伴う収益機会の拡大も期待されます。両者がGPIFの株式・社債ポートフォリオに与える影響を見ると各シナリオ下で、+1.4%～▲9.3%価格が変化する可能性があることが示されました。	財務インパクト ～CVaR分析(株式)～  気候変動リスクが株式のポートフォリオに与える影響 気候変動リスクへの対応は、企業に対してコスト負担が生じる一方、環境技術への需要拡大に伴う収益機会の拡大も期待されます。両者がGPIFの株式ポートフォリオに与える影響を見ると各シナリオ下で、▲3.2%～▲9.3%価格が変化する可能性があることが示されました。

69	— Climate Value-at-Riskを用いた株式・社債ポートフォリオの分析 本節では、「株式・社債」に係る気候変動リスクについて、Corporate CVaR¹を用いて分析を行います。CVaRは、主要各国の中央銀行や金融監督当局による国際的なネットワークである「気候変動リスク等に係る金融当局ネットワーク（以下、NGFS）」などによる気候変動の様々なシナリオを基に、企業価値への影響を「政策リスク（GHG排出削減コストなど）」、「技術機会（環境技術からの収益など）」、「物理的リスクと機会（気候変動による被害）」の3つの観点から推計しています。本稿ではNGFSの各シナリオ下において、GPIFのポートフォリオがどのような影響を受けるのかをまとめています。 図表1では、前提となる8つのシナリオについてまとめています。大きくは気温上昇が+1.5℃、+2.0℃、+3.0℃の3つのケースがあり、それぞれのケースで政策導入や技術変化のスピードなどの違いを加味した計8つのシナリオを前提としています。	— Climate Value-at-Riskを用いた株式ポートフォリオの分析 本節では、「株式」に係る気候変動リスクについて、Corporate CVaR¹を用いて分析を行います。CVaRは、主要各国の中央銀行や金融監督当局による国際的なネットワークである「気候変動リスク等に係る金融当局ネットワーク（以下、NGFS）」などによる気候変動の様々なシナリオを基に、企業価値への影響を「政策リスク（GHG排出削減コストなど）」、「技術機会（環境技術からの収益など）」、「物理的リスクと機会（気候変動による被害）」の3つの観点から推計しています。本稿ではNGFSの各シナリオ下において、GPIFのポートフォリオがどのような影響を受けるのかをまとめています。 図表1では、前提となる8つのシナリオについてまとめています。大きくは気温上昇が+1.5℃、+2.0℃、+3.0℃の3つのケースがあり、それぞれのケースで政策導入や技術変化のスピードなどの違いを加味した計8つのシナリオを前提としています。
70	ここからは、2024年3月末の株式・社債ポートフォリオのシナリオ別CVaRの分析結果を確認していきます。図表2のシナリオ別CVaRの要因を見	ここからは、2024年3月末の株式ポートフォリオのシナリオ別CVaRの分析結果を確認していきます。図表2のシナリオ別CVaRの要因を見ると、
70	以上の3つの要素を総合すると、「無秩序なネットゼロ達成」シナリオにおけるCVaRが唯一のプラス、「秩序あるネットゼロ達成」シナリオではCVaRのマイナス幅が最も小さくなる結果となりました。	機会」のプラス幅が拡大する傾向にあります。以上の3つの要素を総合すると、「無秩序なネットゼロ達成」シナリオにおけるCVaRのマイナス幅が最も小さくなる結果となりました。
70	打ち消す格好となっています。さらに、3つのポートフォリオのCVaRを比べると、炭素排出量を考慮したティルト型ポートフォリオが全てのシナリオで最良となりました。	す格好となっています。さらに、3つのポートフォリオのCVaRを比べると、炭素排出量を考慮したティルト型ポートフォリオが「現行政策」シナリオ以外の全てのシナリオで最良となりました。

70	【図表2】株式・社債ポートフォリオへの影響 (出所) MSCI社提供データよりGPIF作成	【図表2】株式ポートフォリオへの影響 (出所) MSCI社提供データよりGPIF作成
70	【図表3】国内株式ポートフォリオへの影響 (注) 前提シナリオ③1.5℃秩序の移行（エネルギー需要低下）、④2.0℃非秩序的移行、⑧3.0℃温暖化進行（現行政策）は割愛している (出所) MSCI社提供データよりGPIF作成	【図表3】国内株式ポートフォリオへの影響 (注) 前提シナリオ③1.5℃秩序の移行（エネルギー需要低下）、④2.0℃非秩序的移行、⑧3.0℃温暖化進行（現行政策）は割愛している (出所) MSCI社提供データよりGPIF作成

(注) 上表に記載した修正事項に関連する記述をあわせて修正しています